



防災について改めて考える機会に



熊本県南部を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨から約5年。この豪雨により、熊本県では過去に例を見ない大規模な災害に見舞われました。豪雨災害から熊本県は防災意識の向上、ハザードマップの整備、避難計画の策定など様々な対策を講じています。

5月18日、山都町総合体育館パスレルで防災フェスタが開催されました。

パスレル館内では、町防災士や上益城消防署職員による心肺蘇生法の体験や防災クイズ、避難所関連用品の展示が行われました。

屋外では、自衛隊、消防署、警察の車両展示のほか、山都町消防団による放水体験や国土交通省による大雨体験などが催されました。

ステージイベントとして、明光保育園の明光太鼓、熊本県警察音楽隊による演奏なども披露され、楽しい時間の中、参加された方々の防犯、防災意識の高揚が図られました。

【総務課（防災係）からお願い】

6月から7月にかけて梅雨のシーズンとなります。日頃から気象情報の確認や警報時の早めの避難を心がけてください。

また、地域における防災訓練などに積極的に参加され、防災、減災について考える機会としてください。

1. 山都町消防団による放水体験

5メートル先の的に向かって放水する姿は圧巻でした。

2. 明光保育園の子どもたちによる明光太鼓

日頃の練習の成果を存分に発揮！子どもたちの力強いパフォーマンスにみなさん見入っていました。

3. 熊本県警察音楽隊による演奏

ジャンボリミッキー、ウルトラマンメドレー、最後は宇宙戦艦ヤマトの演奏を老若男女楽しんで聴いていました。

4. 白バイ乗車体験

乗車体験のブースには普段乗ることのできない車両が集結し、大人も子どもも夢中で楽しんでいました！